



アメニティーフォーラム



アール・ブリュット展



病後児保育視察(米子市)



ぜんいち
活動レポート



遠位型ミオパシーシンポジウム



中野消防団始式



上町・仲町町会合同避難所訓練



桃花小学校避難所運営会議(HUG)



さくら館まつり



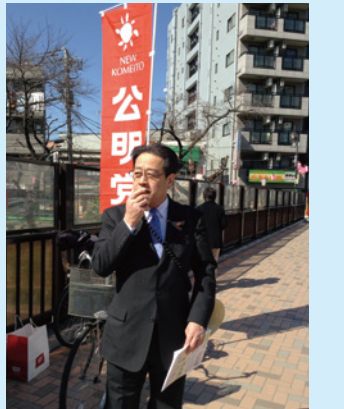
中野中学校卒業式



桃花小学校卒業式



党公会計勉強会



ロコモ街頭



公明新聞に
記事が掲載

中野四季の都市(まち)に新たな建物が完成しました



早稲田大学中野国際コミュニティプラザ



中野中学校新校舎

皆さんのお声が実現しました



中央4-21-1付近の街灯



中央2-41-7付近の街灯

小林 ぜんいち

■区議会役職

中野区議会 厚生委員会 副委員長
中野駅周辺地区等整備特別委員会 委員
中野区国際交流協会 評議員

■資格所属団体等

(社)日本建築学会 正会員
(社)東京建築士会 正会員
早稲田大学稲門建築会 会員
中野稲門会 会員
福祉住環境コーディネーター協会 会員
マンションリフォームマネージャー
日本防災士機構 会員
中野区長野県人会 副会長

■経歴

宮本忠長建築設計事務所東京事務所に16年勤務、TAF設計事務所に勤務。
教育・福祉・医療・文化・事務所・商業・宿泊・公共施設、耐震診断、耐震補強設計や住宅設計等に従事。
独立後、建築専門学校等講師、住宅設計等に取り組む。



HOMEPAGE
ホームページ

小林ぜんいちオフィシャルWEBサイト

サイトURL
<http://kobayashizenichi.com/>
ブログURL
http://blog.goo.ne.jp/kobayashi_zenichi

Facebookは、**小林ぜんいち** または **Zenichi Kobayashi**
Twitterは、**小林ぜんいち** または **@koba_zen**

小林ぜんいち NEWS

NEW KOMEITO
公明党

第13号

2014年4月発行
中野区公明党議員団

中野区議会は平成26年第1回定例会・予算特別委員会が、2月17日より3月25日までの日程で開催され、平成26年度当初予算が可決・成立しました。一般会計の当初予算は、1206億8700万円(前年度比3.1%増)となりました。

■公明党が取り組み前進した主な事業

【防災・減災】

- スタンドパイプが平成27年度までに全町会防災会に配備予定
- 応急給水資機材が平成28年度までに避難所・区有施設に配備予定
- 在宅療養患者の災害時支援体制の確保
- 避難所機能の充実や帰宅困難者の備えを強化
- 防災行政無線(固定系)のデジタル化
- 橋梁長寿命化修繕工事
- 区立小中学校の非構造部材を含む耐震化など

【教育・子育て支援】

- 区立保育園にAEDが配置
- 病後児保育事業の拡充
- 保育園待機児対策として、定員が平成27年4月までに402人増など

【福祉・高齢者・障がい者支援】

- 子宮頸がん検診の受診勧奨
- バリアフリーマップの更新及び作成
- 就労意欲喚起事業の開始など

【まちづくり】

- 設計労務単価(職人さんの賃金)の見直し
- 木造密集地域(弥生町・大和町)の防災街づくりが前進など

【その他】

- 区公式ホームページの充実など



中野区議会開催



「公共工事の設計労務単価(職人さんの賃金)引き上げ」要望

平成26年2月7日、田中大輔中野区長に対し、「技能労働者の公共工事設計労務単価引き上げを反映した迅速な工事費積算への対応についての申し入れ」を提出。申し入れは、国の平成26年2月からの技能労働者の公共工事設計労務単価引き上げの決定を踏まえ、中野区の公共工事積算において、適正な水準での設計労務単価を昨年同様、速やかに決定かつ実施するとともに、受注価格の注視と現場労働者の処遇改善に必要な対策を講ずることを求めました。

中野区はこれを受け、新労務単価を早期適用するとともに、平成26年2月1日以降に契約を締結する工事について、新労務単価を適用する措置を行いました。



中野区長 田中大輔 殿

平成26年2月5日

公明党議員団

久保 里香

梁川 妙子

小林 秀明

南 勝彦

平山 英明

白井 秀史

小林 孝一

甲田百合子

木村 広一

技能労働者の公共工事設計労務単価の引き上げに向けた申し入れ

国土交通省は昨年に引き続き、建設工事現場で働く技能労働者の不足に伴う労働市場の実勢価格を適切・迅速に反映した適切な水準での賃金支払い、社会保険への加入の観点から必要な法定福利費相当額を反映するため、公共工事設計労務単価の見直しを行い、太田国土交通大臣の決断により2月1日から適応するため、平成26年度2月からの公共工事労務単価について、現行比で平均7.1%の上昇を決定しました。

中野区は昨年4月、国の平成25年度公共工事労務単価引き上げに対し、早急に引き上げを行い、実施した事を高く評価します。中野区においても、技能労働者に係る適切な水準での賃金支払いと若年層の就職を促し、中小企業の健全な育成とともに社会保険への加入を徹底することは重要な課題であり、以下の対策を昨年同様早急に行うことを強く求めます。

記

国の平成26年2月からの公共工事設計労務単価引き上げ決定を踏まえ、中野区の工事においても適切な水準の設計労務単価を昨年同様速やかに決定・実施するとともに、受注価格の注視と現場労働者の処遇改善に必要な対策を早急に行うこと。

中野区議会 議会報告 平成26年 第1回 定例会



一般質問(2014.02.20)

質問項目

- 1.税徴収の改善策について
臨戸徴収強化対策と、滞納対策の強化へ
- 2.老朽化した区有施設の「再生」について
- 3.人事について
人材確保と新しい能力開発を
- 4.都市・建築・防災行政について
 - 4-1)民間建築物の防災性能向上について
 - 4-2)集合住宅・マンション行政について
 - 4-3)貯留槽設置による雨水抑制対策について
 - 4-4)施設計画での使用材料について
 - 4-5)災害・防災対策について
- 5.教育行政について
 - 5-1)給食の残菜削減と食育について
 - 5-2)学校の給水設備について
- 6.その他
 - 6-1)自治体の国際交流について
 - 6-2)新たな国際交流について

小林ぜんいち 一般質問から抜粋

老朽化した区有施設の「再生」について

■老朽化した区有施設を、民間活力導入で再生せよ

小林 平成20年作成の施設白書によると、改修時期に達している施設や、早急に建築計画を検討する必要がある施設が相当数存在する。10か年計画見直しの前提として施設白書を先に改定し、有効な区有施設跡地の活用を図ってはどうか。

区長 施設の長寿命化や改修に関し、中長期的な方針を作る必要がある。また、今後の施設の在り方についてファシリティマネジメントの考え方や学校跡地の活用、財源対策など十分斟酌して行う。

小林 民間活力や資金の導入を進め、PPP方式、PFI方式、SPC方式などの導入検討で、施設整備を行ってはどうか。

区長 民間の資金、経営ノウハウの活用と、民間連携を対応していきたい。

小林 VFMの考え方により区有施設運営、更新の検討と、後年度負担のかからない老朽化する区有施設の再生に向け計画づくりと将来へのビジョンを示すべきではないか。

区長 投資効果を捕捉し、計画を策定することは大切であり、VFMの前例を参考にしていきたい。

- PPP=民間の資金やノウハウを活用した社会資本を整備・維持。民間が政策などに計画・企画段階から参加する。
- PFI=公共施設等の建設・維持管理・運営等を民間の資金、経営能力及び技術力などを活用して実施する経営活動・経営手法。
- SPC=特定目的会社。投資者と運用者を「特定目的会社」によって結合し、契約で公共性を保持しながら、実質的には民間委託する。
- VFM=PFI事業における、支払い(Money)に対して最も価値の高いサービス(Value)を供給するという考え方。

都市・建築・防災行政について

■民間建物の防災力向上を

小林 一定の防災基準を満たした集合住宅を認定し、災害に強い民間建物の防災性能向上を誘導する良質なマンション認定制度を設けるべきではないか。

区長 他自治体での取り組みについて調査研究し、今後の施策展開の参考にしたい。



■貯留槽設置による雨水抑制対策を

小林 今後益々、ゲリラ豪雨などの気象予想もあり、災害が頻繁に起こることも考えられる。対策として、雨水流出抑制設備設置と拡充・補助を設けてはどうか。

区長 東京都の貯留タンクの設置助成の活用と、雨水流出抑制面積の改定改善を行っていく。



■小規模な区有施設は木造建築物で計画を

小林 今後増加する区有施設や学校建築の建て替えなどで、小規模な区有施設等は、費用対効果の大きい建築材料の見直しを図るとともに、木造建築の検討を図ってはどうか。

区長 材料の見直しで財政削減に検討を加える。また、木造建築物については研究して参りたい。

■防災会へのスタンドパイプの配備計画を示せ

小林 スタンドパイプのまだ配備されていない町会・自治会の防災会へ、積極的にスタンドパイプと応急給水型スタンドパイプ配備の拡充を図ってはどうか。

区長 スタンドパイプは、26年度から3年間で防災会へ配備を行う予定である。応急給水型スタンドパイプは、25年度から3年間で63台が東京都から貸与される予定なので、避難所へ配備数を勘案して決定する。



①可搬式のスタンドパイプセットを持ってきます。スタンドパイプ、スピンドルドライバー、ホースなどがセットになっています。車輪付きで軽いので移動も簡単です。

教育行政について

■学校の残菜の削減を食育とともに図れ

小林 給食の残菜が1割ある。残菜の削減を図るため、食育教育を家庭でも行ってはどうか。



区長 食習慣や栄養摂取による自己管理能力の向上、家庭や地域連携は不可欠である。食育事業を通し啓発に努めていく。

■学校の蛇口からおいしい水を提供しては

小林 学校の水飲み栓を直結給水化し、受水槽を経由しない水道水の供給へ改修し、東京の美味しい水を学校の蛇口に供給し実感してはどうか。



区長 東京都の一部負担事業を活用し、改修を行うことを検討していきたい。

自治体の国際交流について

■国の垣根を越え「3国復興レジリエンス協定」の締結と、訪問団の派遣を

小林 災害などに対し、抵抗力・回復力を高めることを重視するレジリエンスは、「被災した時はお互いさま」という国と国との垣根を越えた「同苦」と「連帯」の地平を開く。中野区は姉妹都市締結をしている韓国ソウル特別市陽川区、中国北京市西城区と「3国復興レジリエンス協定」とも言える防災協定を結んではどうか。

また、平成26年度は、中野区から積極的に青年や女性・子ども達の交流団を送るべきでないか。

区長 陽川区、西城区と、防災・減災の観点から情報交換のできるところから行っていきたい。姉妹都市間の民間交流について、区としても協力していきたい。

■食の国際交流イベント開催を

小林 中野区内には1万人の外国人が住んでいる。31人に1人が外国人です。区内に住む外国人と交流を深めるため、食文化を通じた国際B級グルメ大会や、踊りや音楽会などの国際交流会を開催してはどうか。

区長 民間交流の機会に、広報など可能な範囲で支援をしてみたい。

